

アジア太平洋のビジネス界のリーダー達は
あまねく広がる成長を強く要望する

香港

2015年1月30日

ビジネスおよび政治のリーダー達は、アジア太平洋地域の成長が継続していく中で、誰一人として取り残されることがないように、より一層の取組みを進めなければならない。これはAPECビジネス諮問委員会（ABAC）が香港で行った会議の重要なメッセージである。

「一体化の進むグローバル市場が生み出すビジネスの機会を、全ての人が活用できる状態にあるわけではない。」と2015年ABAC議長のドリス・ホーは言った。「この状況は変える必要がある。人々が地域の成長の恩恵を享受することが出来るようにならなければならない。」

「この新しい繁栄の持続可能性が、食料、エネルギーなどの天然資源の制約や、天災その他の災害によって脅かされている。包摂性と強靱性の両方を改善していくことは、APECにおいて優先度の高いアジェンダでなければならない。」

ホー議長のこの発言は、APEC地域のビジネス界のトップリーダーで構成されるABACのメンバーが香港での会議で結論づけた、活動計画の概要を受けてのものである。ABACは、本年11月のAPECサミットに於けるAPEC首脳との直接対話に際し、提言を行う予定である。

「ABACは、開かれていて予見性があり透明性もある貿易・投資環境が、持続的な経済成長や雇用創出、財政の安定というAPECの希望を叶える手段となる、と首尾一貫して提唱してきた。」

「こうした点から、我々は、アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）の形成に向けて進展が見られることを喜ばしく感じている。FTAAPの発展は、グローバルなバリューチェーンやサプライチェーン、サービス分野の健全性に注意を払うことによって進めていく必要がある。」

中小・零細企業（SMME）の活力は、女性の経済への参画と同様に、誰一人として取り残されことなく成長を確実に進めていく上で鍵となるものである。

「SMMEのグローバル市場への十分な参画が可能となり、女性の潜在力が十分に発揮された場合の雇用創出力の強さは、容易に想像できる。」

本年、ABACはSMMEが仕事のアイデア、市場、ファイナンス、技術、起業のためのスキル、にアクセスが可能となるような提言をまとめていくことになる。

1月28日（水）には、リョン・チャンイン香港行政長官の主催によるディナーが行われ、ABAC委員とAPECの高級実務者が出席した。リョン・チャンイン長官は、2015年のAPECの優先事項の支援を表明し、APECの取組みが、より包摂的な社会を生み出すとする香港自身の努力と合致するものであると述べた。